

# 大己貴神社・素盞鳴神社

## 撰末社巡拝⑤



素盞鳴神社

大己貴神社

この勇敢な神を人々は崇敬し、各地に素盞鳴命を祀る神社を建立した。備中地方ではその偉業を讃え、後世に残すべく「備中神楽」が考案され、毎年各地で行われている。

やがて、素盞鳴命はあまりの暴れぶりに高天原を追放され出雲国に降り立ち、村人を苦しめる頭が八つ、尾が八つある山俣大蛇（やまたのおろち）を退治した。

この勇敢な神を人々は崇敬し、各地に素盞鳴命を祀る神社を建立した。備中地方ではその偉業を讃え、後世に残すべく「備中神楽」が考案され、毎年各地で行われている。

因幡の白ウサギの話しに登場する「だいこくさま」として親しまれている。

当県においては、その神威を戴こうと大国主命を祀った神社が多数ある。特に出雲街道のある県北では、国司神社又は国主神社の名称で祀られている。

素盞鳴命（すさのおのみこと）は天照大神の弟神で、伊邪那岐命が禊ぎをした時に鼻を洗った時に生まれた神様である。父神に海原を治めなさいと命じられるが、泣きわめいて言うことを聞かなかつた。とされ、暴れん坊の神様として知られている。

つるるわき

発行所  
**鶴崎神社**  
 早島町早島2220  
 〒701-0304  
 TEL 482-0097  
 FAX  
 URL  
[www6.ocn.ne.jp/~turusaki/](http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/)

境内の西側厩舎の左側に小社がまつられている。右側が大己貴命（おこなむちのみこと）を祀る大己貴神社、左側が素盞鳴命（すさのおのみこと）を祀る素盞鳴神社である。

大己貴命は大国主命のことで、出雲大

人が亡くなれば、その肉体は滅びてしましますが、では魂は一体どうなるのでしょうか？

古くから日本人は、その行方に思いを巡らしてきましたが、少なくとも言えることは、亡

き人の魂はいつまでもこの土地に留まって、愛しい人や子孫とともに生き、その幸せを見守ってくれろと信じてきたことです。

こうした伝統的な考え方は、今日さまざまなかたちで伝えられています。

例えば、自分の家や田畑に山の神さまをお招きする行事が各地で見られ

ますが、これは山の神さまとなった祖先の霊が、恵みをもたらすために山から里に降りてくるといふ信仰があるからです。祖先の霊が子孫の生

# 日本人の靈魂観

活する地域近くの山頂に留り、時季を定めては子孫と交流するために降りてくると考えるのは、いつまでも自分たちの近くに見守って欲しいという素朴な願いの現れであり、地域からいつでも望むことのできる高い山上が、神々の聖地、祖霊の永住地と信じられてきたことの証でしょう。

一方、お盆には「精霊流し」という祖先送りの行事が見られますが、海沿いの町や村には、祖先は海の彼方(常世の国)からやってくると考えられているところもあります。

日本にはたくさんの中行事がありますが、その中にも祖先の霊を親しくおまつりする特別な日が少なくありません。「盆と正月が一緒にきたようだ」とは嬉しいことが重なった時などに使いますが、祖先の霊との交流が叶う日だからこそ、特別な日として大切にされてきたのです。



満開になったソメイヨシノ

今年全国的に春の気温が高く、岡山でも桜の開花が早まった。

境内の桜も、三月三十日には満開となり、参拝の人々の心を和ませた。

当社の桜は一般的な「ソメイヨシノ」である。これは園芸種でオオシマザクラとエドヒガンの雑種といわれており、江戸時代の末期に知られ、江戸の染井(そめい)から広がりはじめたといわれる。今では春の代表的な花でお花見といえはこの桜が対象となっている。

# 神道Q&A

## 【質問】

地区の荒神様のお祭りに、神饌をお供えするのですが、どのような物を、どのような順序でお供えしたらいいのですか？

## 【答え】

神饌とは神に奉るお供え物の事です。お供え物は食物なら何でも構わないかという、やはり一定の決まりがあります。

### ◆主な神饌品目

- ①米（稲・玄米・白米・洗米・白飯・粥等）
- ②酒（濁酒・清酒・甘酒等）
- ③餅（鏡餅・丸餅・切餅・チマキ等）
- ④海魚（鯛・ブリ・サワラ・イカ・エビ等）
- ⑤川魚（アユ・コイ・フナ等）
- ⑥野鳥（キジ・山鳥・鶏等）
- ⑦水鳥（カモ・雁等）
- ⑧奥津藻葉（昆布・ミル等）

⑨ 辺津藻葉（ヒジキ・ノリ・ワカメ・ホンダワラ等）

⑩ 甘菜（カブ・イモ・人参・キュウリ・ナス等）

⑪ 辛菜（大根・ワサビ・シヨウガ等）

⑫ 生果物（ミカン・桃・ブドウ・梨・リンゴ・栗等）

⑬ 干果物（干し柿・カチグリ・カヤ等）

⑭ 菓（饅頭・ヨウカン・オコシ・ブト・マガリ等）

⑮ 塩・味噌・醤油・酢・水

などがあり、これらを順位に従ってお供えするのですが、祭の規模や場所に依りて適宜品目を選定します。

また、獣（猪・鹿・ウサギ）は一部の神社ではお供えされていますが、ニラやネギ、ニンニク等臭いのきつい物と共に一般ではあまりお供えされません。

### ◆一般的な神饌品目

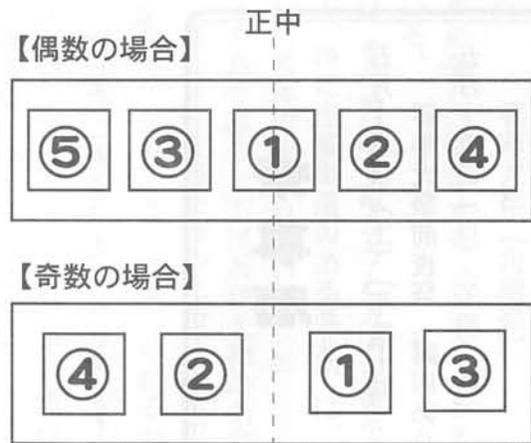
七台の場合  
①米・酒、②餅、③魚、④海菜、⑤野菜、⑥果物、⑦塩・水

五台の場合  
①米・酒、②海菜、③野菜、④果物、⑤塩・水

三台の場合  
①米・酒、②果物、③塩・水

一台の場合  
①米・酒・塩・水

◆お供えする順序



首尾のある鳥、魚などは正中（神様の中央）及び向かって右側では頭を左にし、向かって左側では頭を右にし、魚の腹は神前に向けます。

多彩な催しで賑わった

# 正月行事

平成十四年は新年を告げる太鼓の音と共に明けた。

今年も、境内で紅白の餅つき、社務所では甘酒接待、拝殿では神酒の接待が行われ、雨や強風にも拘わらず三ヶ日で三千人の参拝者で賑わった。また巨大な干支「折り紙馬」を展示し話題を呼んだ。



境内に展示された折り紙馬

## お食い初め

箸初め箸揃え箸立て・百日・真名初め・まなの祝い・魚味祝いともいう。

生後二十日目(地方によっては百十日目)に、子供に初めて米食魚菜を食べさせる内祝いの儀式である。

赤ちゃんのために食膳を整え、実際は食べさせるまねだけをする。歯が生えるほどに成長したことを喜び、一生食べ物に不自由せぬようにと折り、神棚や祖先の靈にその旨を報告し礼拝し、子の健やかな成長を願う儀式である。

お食い初め碗といつて、鶴・亀・松・竹な

### 諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・

家内安全・当病平癒その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

どの詩絵模様の描かれている碗を用いる。

この日、膳・碗・箸などを新調し、尾頭つきの魚や赤飯で祝う地方もあり、かつては五十日目に餅をついて祝う風習もあった。

現在はこちらを食べさせる「お食い初め」と、魚を食べさせる「魚味祝い」が一緒になったような形で伝承されている。

## 祭事暦

五月十八日(土)「午後七時」

春季大祭前夜祭(露店あり)

五月十九日(日)「午前十時」

春季大祭【供膳祭】

七月三十日(火)「午後四時」

夏越祭【輪くぐり祭】(露店あり)

毎月一日(午前九時) 月次祭

※月次祭にお詣りの方は、拝殿に

ご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。